



アーサー・レクティアー Arthur Lechte

豊橋市国際交流員

Toyohashi City Coordinator for  
International Relations

アーサー・レクティアーさんのコラムの英文をみたい方は、豊橋市国際交流協会のホームページ(<http://www.toyohashi-tia.or.jp>)をご覧ください。

### 第7回 オーストラリア・デー

あっという間に2017年の1月は過ぎ、もうすぐ桜が綺麗に咲く時期になるとのことですが、自分はまだまだカイロを体中に潜ませて過ごしているせいか、そういった実感がなかなか湧かない今日この頃です。オーストラリアに住んでいる友人によると、あちらではまだまだ暑さは続いており、1月26日のオーストラリアの日(英語: Australia day)は最高のビール日和だったと自慢話を聞かされました。この「オーストラリアの日」は年末年始を除いて、年の最初にある祝日です。

この日は、1788年の1月26日に、イギリスの艦隊がオーストラリアに上陸し、イギリスの流刑植民地としてのオーストラリアが誕生しました。そしてこの背景があつてこそ、今では様々な人種が共に住んでいる「オーストラリア」という国を祝おうという祝日です。友達や家族が集まって、のんびりバーベキューをしたり、様々なイベントなどが行われ、楽しい雰囲気が漂う日です。

ここで問題なのは、この植民地化が始まる前に、既にオーストラリアに4万年以上前から平和に暮らしていたアボリジニという民族が居て、そんな彼らにとってこの日はどういう意味を持つのか。答えは「侵略」、「虐殺」、そして「抑圧」です。彼らにとってこの1月26日は、故郷が奪われ、白人の支配が始まり、残酷な歴史が始まった日なのです。

その結果、今ではアボリジニ民族の歴史と文化はほとんど失われていて、人口はオーストラリアのほんの2%しか残っていません。これらの理由で、「オーストラリアの日」ではなく、「侵略の日(英語: invasion day)」と呼んでいる人もいます。最近では、オーストラリアの日を全国民で祝うには、他の日に移した方が良いという意見が注目されています。

それに対して、他の日に移したとしても、過去にこのような出来事が起きたという事実は消えないし、この日から始まった過去の過ちを忘れないためにも、「オーストラリアの日」は1月26日のままにしておいた方が良いという意見もあります。

後者の意見は聞こえがいいかもしれませんが、実際オーストラリアの日に過去の過ちについて考える人はどれくらいいるのでしょうか。2008年、長年の不当な扱いに関して、オーストラリア政府はアボリジニ民族への正式な謝罪をしました。過去の過ちを必ず繰り返さないこと、アボリジニ民族との仲を直し、オーストラリアの全国民が将来に向けて一緒に歩んでいこうというメッセージが込められていました。

個人的には、アボリジニ民族に対する国の態度は徐々に良くなっていると思います。国からアボリジニ民族に対する正式な謝罪、そして様々な形の援助も増え、今後はもっとアボリジニの人々との壁が減っていくと信じています。その反面、毎年オーストラリアの日に、陽気にバーベキューをしながらオーストラリアという国を祝っている人たちの光景は、アボリジニ民族の子孫にどう映っているかということを考えると、まだまだ先は長いとも感じています。



アボリジニ芸術の特徴である点描で描かれた「カンガルー」

### エフエム豊橋・ポルトガル語講座、放送中!!

・はなそうポルトガス  
毎週火曜 12:45~  
土曜 12:30~(再放送)

FM 84.3MHz

株式会社 エフエム豊橋  
JOZZ 6AA-FM84.3MHz FM TOYOHASHI INC.  
[URL] [www.843fm.co.jp](http://www.843fm.co.jp)



うまいもんや  
鯛松

【5月より移転  
いたします】

Umaimonya TAIMATSU

〒440-0881 豊橋市広小路2丁目24  
TEL (0532) 52-8601

■営業時間 / 17:00~23:00 (L.O. 22:00)  
■定休日 / (日・祝) 予約のみ営業